

ADESSO 電波時計 MODEL:8255H

取扱説明書・保証書付

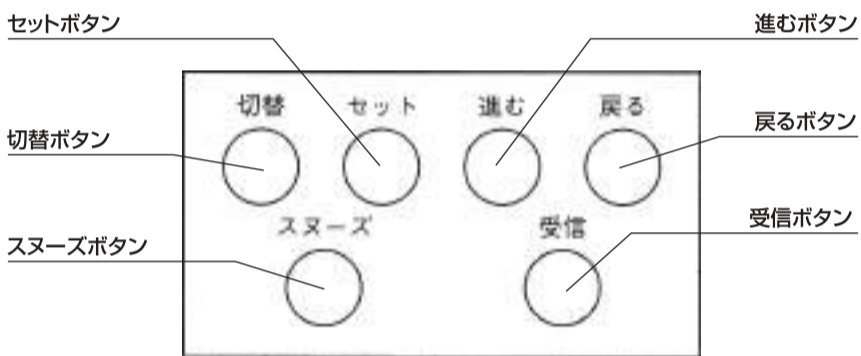
このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用いただく前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただけますようお願いいたします。また、この取扱説明書(保証書付)はお手元に保存の上、必要に応じてご覧ください。

本製品の特長

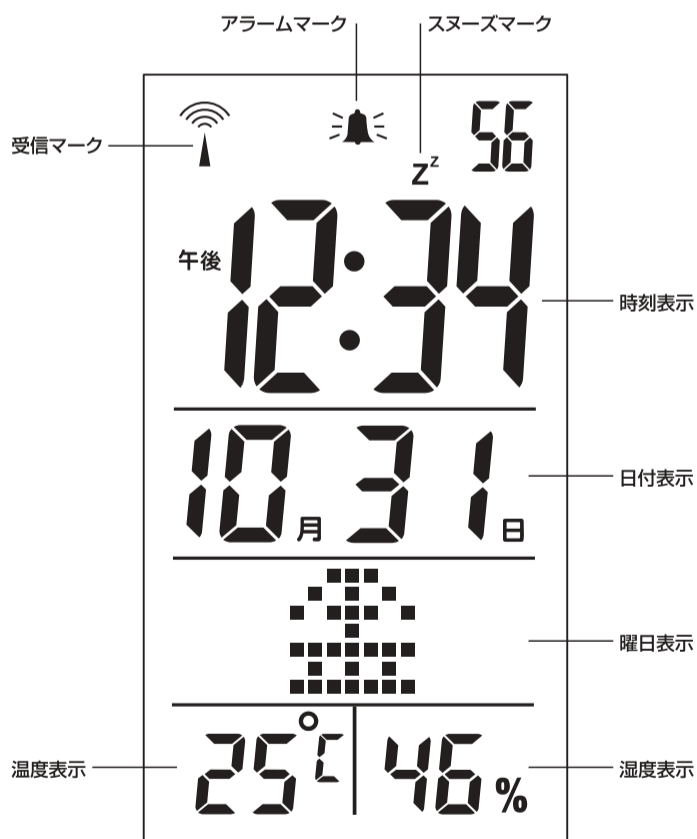
大きく見やすいビッグLCD表示

- 東西(福島、佐賀)の標準電波を自動的に選局受信して、現在の時刻を表示する電波修正機能(日本国内有効)
 - 電波受信できない場合でも、通常のクォーツ時計としてご使用になれます。
 - アラーム&スヌーズ機能
 - 温度・湿度表示
 - 置掛兼用の便利なスタンド付き
- ※この製品は日本国内用です。海外での使用には適していません。手動で時刻合わせをしていても、まれに日本標準電波を受信し、日本時刻を表示してしまう恐れがあります。

各部の名称



画面上の記号



電波受信方法

■電波自動受信方法

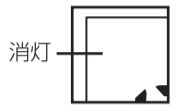
- 裏面の電池カバーを開けて、(絶縁紙が入っている場合、絶縁紙ははずしてください。)電池の⊕⊖を間違えないように入れてください。
※電池交換の際も同じようにしてください。
- リセットボタン(本体裏のRESETの書かれた部分の小さな穴)に細いクリップ等を奥まで差込んでください。この時、午前12:00表示してから受信マークが点滅し、電波の受信を開始します。(電波受信中は受信マークが点滅します)
- 本体を窓際などできるだけ電波の受信しやすい場所においてご使用ください。

- 受信が成功した場合、受信マークが点灯し、時刻、日付、曜日が正しく表示します。
- ※受信成功後、現在時刻、日付が正しく表示されているか確認してください。



- 受信ができなかった場合、受信マークが消灯し、時刻、日付、曜日の修正は行いません。

- ※この場合、置き場所を変えてから、**受信ボタン**を押して再度受信マークを点滅させ、強制的に受信させるか、手動(「電波を受信できなかった場合」を参照してください)で時刻、日付を合わせてください。
- ※地域環境条件によっては受信不調により、受信に時間がかかる場合があります。**夜間は受信状態が良くなるため、一昼夜そのままにして様子みてください。**



電波を受信できなかった場合

- 電波を自動受信できなかったときは、**受信ボタン**を押して標準電波の受信を開始してください。
- うまく受信できない場合は、本体の向きや置き場所をかえて、もう一度受信させてください。ご使用中受信マークが表示されない場合、使用場所の受信状態が良くないと思われる。また、一日の内で夜間の方が昼間に比べて比較的受信状態が良くなりますので、受信できなかった場合でも一昼夜置くことにより受信できる場合があります。

■手動での時刻・カレンダーの合わせ方

- セットボタン**を押してください。「時」が点滅しますので、**進む・戻るボタン**を押して「時」を合わせてください。
- 次に**セットボタン**を押すと「分」が点滅しますので、**進む・戻るボタン**を押して「分」を合わせてください。
- 次に**セットボタン**を押すと「年」が点滅しますので、**進む・戻るボタン**を押して「年」を合わせてください。
- 次に**セットボタン**を押すと「月」が点滅しますので、**進む・戻るボタン**を押して「月」を合わせてください。
- 次に**セットボタン**を押すと「日」が点滅しますので、**進む・戻るボタン**を押して「日」を合わせてください。
- 最後に**セットボタン**を押すと、手動でのセットは完了し通常時刻に戻ります。

- ※曜日は日付をセットしたときに自動的に合わせます。
- ※**進むボタン**を押すと12/24時間制の選択ができます。
- ※操作中に約30秒間何もしていないとその時表示されている状態がセットされ、通常時刻表示に戻ります。

アラームについて

■アラームのセット方法

- 切替ボタン**を押してアラーム時間モードにした後、**セットボタン**を押すと「時」が点滅し、アラーム時刻合わせの状態になります。**進む・戻るボタン**を押して「時」を合わせてください。(進む・戻るボタンを押し続けると早送りします。)
※数十秒間以上押さない状態が続くと自動的に通常時刻表示に戻ります。
- 次に、**セットボタン**を押すと「分」が点滅しますので、**進む・戻るボタン**を押して「分」を合わせた後**セットボタン**を押して決定し、**切替ボタン**を押して通常時間表示に戻ってください。
- アラームマークが点灯していない場合は、**戻るボタン**を押して アラームマークを点灯してください。(アラームONの状態)もう一度**戻るボタン**を押すとアラームマークが消灯します。(アラームがOFFの状態)

■アラームの止め方

- アラームが鳴ってる時、**スヌーズボタン**以外のボタンを押すとアラーム音は止まり、アラームマークは表示されたまま翌日の同時刻に再び鳴ります。
- スヌーズ機能
アラームが鳴ってる時、**スヌーズボタン**を押すとスヌーズマーク が点滅表示され、スヌーズ機能が働き、アラーム音が止まります。約5分後に再びアラーム音が鳴ります。この操作は繰返すことができます。
- アラーム音が鳴っている時いずれのボタンを押さないでいると、約1分後に自動的に止まります。(オートストップ機能)この場合、アラームマークは表示されたまま翌日の同時刻に再びアラームが鳴ります。
- アラームを解除したい場合、アラームモード時に**戻るボタン**を押して マーク消してください。(アラームOFFになります。)

12/24時間表示切替えについて

進むボタンを押すと12/24時間制の切替えができます。

電池について

●電池の交換方法

裏面の電池カバーを開けて、電池の⊕⊖を間違えないように入れてください。入れ終わったら電池カバーを元に戻してください。

※電池交換後、表示がおかしい・表示しない場合は、RESETを押してください。表示がリセットされます。

⚠ 警告

●アルカリ電池について

- ①ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- ②万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

●電池について

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液もれや破裂などのおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- ①⊕⊖を正しく入れてください。
- ②電池を取り替えるときは、指定の新しい電池とすべて交換してください。
- ③この電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- ④電池に直接ハンダ付けしないでください。
- ⑤直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。
- ⑥時計が止まったり、時計を使わないときは、電池をはずしてください。
- ⑦時計に添付の電池は工場出荷時よりつけられていますので、電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

電波クロックについて

●電波修正機能とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

●標準電波とは

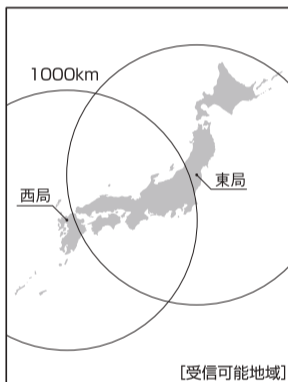
福島県の大鷹鳥谷山(おたかどややま)標準電波送信所(周波数40kHz)と、福岡・佐賀県境の羽金山(はがねやま)標準電波送信所(同60kHz)の2ヶ所から常時送信されています。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という超高精度の「セシウム原子時計」によるものです。

●電波受信の条件

受信可能地域の目安は、条件により異なりますが各送信所よりおおむね1000kmです。受信範囲内であっても、地形・建物の影響などによる不受信や天候・設置場所・時計の向き・時間帯により受信できない場合があります。通常は東日本では東局(周波数40kHz)西日本では西局(同60kHz)の電波がより受信しやすいと考えられています。ただし、地域、地形などの影響により、遠い方の送信所の電波を受信する可能性がありますので、受信に失敗した場合はもう一方の送信所からの電波もお試ください。

※標準電波は、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波される場合があります。

※電波を受信できない場合は、通常のクォーツ時計として月差±40秒の精度で計時します。

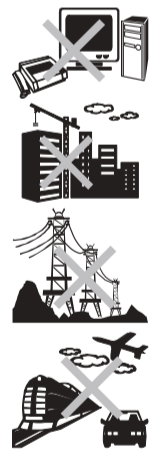


●受信に適している場所、不向きな場所・時間帯について

本製品は、AMラジオと同様に内蔵のレシーバーにより電波を受信するものです。できるだけ、電波の受けやすい窓際もしくは時計体の正面または裏面が送信所の方向に向く場所でご使用下さい。

次のような場所・時間帯では正確に受信できないことがあります。

- ①鉄筋・鉄骨の建物の中、ビルの谷間、地下。
- ②電波を受信するのに妨げとなるノイズ(妨害波)の影響を受ける場所。
・交通量の多い所、工事現場、電車の架線、高圧線、電波塔、空港の近く。
・テレビ、インバータエアコン、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器近く。
- ③電波が反射されやすく、受信しづらい場所。
・スチール机などの金属製家具の上や近く、金属を使った壁面。
- ④乗り物の中。(自動車、バス、電車など)
- ⑤その他ラジオが受信しにくい場所など。
- ⑥昼間は生活上のノイズが多く発生するため受信がしづらくなっています。夜間に受信することをおすすめします。



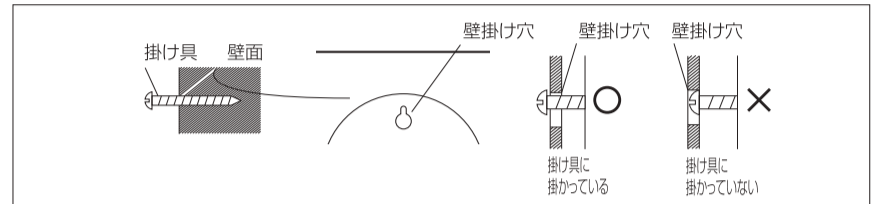
液晶パネルについて

- 液晶パネルが破損した場合、ガラス及び中の液晶には十分に注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
- 皮膚に付着した場合
付着物をふき取り、水で流し、石けんで良く洗浄してください。
- 目に入った場合
きれいな水で良く洗い流し、最低15分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合
きれいな水で良く口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる可能性があります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- 液晶パネル面に触れないでください。表示が薄くなったりムラになることがあります。しばらく放置しますと元に戻ります。

⚠ 注意

○時計の掛け方について

1. 掛け具(木ねじ)を使用できる壁面は、木の柱や厚い木質の壁面です。それ以外の石膏ボード、コンクリート、薄いベニヤ板などの壁面には使用できません。掛け具以外のときは、時計を掛ける場所の材質に合い、時計の重量に十分耐えられる市販の掛け具を選んで取り付けてください。
2. 掛け具は時計を掛けるため、ある程度の幅が必要です。掛け具がぐらぐらと動かなくなるまで押し込んで固定してください。
3. 掛け具がしっかり固定されて動かない事を確認の上、裏面の壁掛け穴に掛け具を通して、時計を掛けてください。
4. 壁掛け穴に掛け具が確実に掛かったことを確認するために、時計を上下・左右に軽く動かしてください。
5. 掛け具の止り具合、時計の掛け方が不完全ですと、時計が落下して怪我をしたり、時計が破損する恐れがあり危険です。



8255H仕様

- 受信電波:長波JJY(周波数:40kHz/60kHz)自動受信
- 精度:平均月差±45秒(気温5℃~35℃で使用、電波受信による時刻修正を行わない場合)
- 表示精度:±1秒(電波受信による時刻修正を行った場合)
- 使用温度範囲:-10℃~+50℃(ただし、表示判読可能範囲 -8℃~+49℃)
- アラーム:電子音、1分間オートストップ、約5分間スヌーズ(スヌーズは何回でも繰り返し可能)
- 温度測定範囲:-8℃~+49℃(測定範囲内での精度±2℃)
- 表示:日付(月/日、曜日)、午前/午後表示による12時間制または24時間制表示、周囲温度(℃/F)
- カレンダー表示:2000年1月1日~2099年12月31日まで表示可能
- 電池寿命:約1年(付属の電池はモニター用のため寿命に充たない場合があります)
- 使用電池:1.5V 単3乾電池×2個
- 電波受信機能:自動受信(次回受信までクォーツ精度で動作します)、手動受信(強制受信)